

柴田望洋プログラミングシリーズ

定本 **明解 C 言語**

第 I 卷

入門編

柴田 望洋

*BohYoh Shibata*

**SOFT  
BANK**  
Publishing

本文中の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。  
本文中に、TM、®マークは明記していません。

©1999 本書のプログラムを含むすべての内容は著作権法上の保護を受けています。  
著者・発行者の許諾を得ず、無断で複写・複製をすることは禁じられています。

## はじめに

こんにちは。

本書『定本 明解C言語 入門編』は、C言語の基礎をきちんと学びたい人のためのテキストです。

現在、C言語は、教育機関やソフトウェア開発の現場など、いろいろな所で使われていますし、各種の資格試験などでも非常に重要な位置を占めています。

その現実とは裏腹に、よく“C言語は難しい”といわれます。しかし、決してそのようなことはありません。本書を読めば、難関といわれている《ポインタ》などの概念も、ちゃんと理解できるでしょう。

本書は、プログラミングを専門に勉強しようとする人だけでなく、とにかくC言語を《道具》として使おうとしている人、C言語を教える立場におかれた人など、C言語に関わる多くの方々の役に立ちます。

全編を語り口調で説いていますから、読み進めやすいと思います。

『C言語の基礎を極めるぞ!!』

という心構えをもって、本書にお付き合いいただくことを願っています。

## 謝辞

本書は、1995年に出版いたしました『明解C言語入門』をベースに、その構成も含めて、ゼロから書き直したものです。

『明解C言語入門』執筆の際は、当時福岡工業大学の学生であった臼井弘喜君、赤尾浩君には、何度となく原稿を読んでいただき、貴重な御意見を賜りました。

本書をまとめるにあたり、福岡工業大学大学院の岡寛文君、福岡工業大学の高木宏典君には、原稿のチェックだけでなく、いろいろな雑用のたぐいなども快く引き受けていただきました。

吉井システムリサーチの赤尾浩君には、再び本書でもお手伝いいただきました。

前著『プログラミング講義C++』執筆の際に、原稿作成、ゲラチェックなど、多大なるお手伝いをしていただいた、当時福岡工業大学に在学していた杉山聡君には、本書では、出版社の編集者という立場で、御協力いただきました。

処女作『秘伝C言語問答ポイント編』以来、野沢喜美男編集長には、随分とお世話になっております。本書を3色刷という形で作り上げることができたのも、氏のおかげです。

現在、福岡工業大学において、情報処理およびプログラミング言語の教育環境を整備するためのプロジェクトを推進しております。本書の全編に、その成果が埋め込まれています。福岡工業大学の多くの諸先生方に御理解・御協力を賜りました。

この場をお借りして謹んでお礼を申し上げます。

\*

本書は、アドビシステムズ社のPageMaker6.5JとIllustrator7.0J（いずれもWindows版）を用いて、私自身でDTPを行いました。そのため、私が望んでいるレイアウトや図表などを、ほぼイメージ通りに表現することができました。

このような環境を提供する数多くのソフトウェアを世に出しているアドビシステムズ社の技術に敬意を表します。

1998年3月

著者